|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学校記載欄 | クラス |  | 整理番号 |  |

第１号様式

大学生等奨学金貸付予約及び第一種奨学金返還支援対象者認定申込書

年　　月　　日

香川県知事　殿

申込者（本人） 〒

住　　所

氏　　名

電話番号　自宅

携帯

保護者等　　　 〒

住　　所

氏　　名

（本人との続柄：　　　　　　　　　）

電話番号　自宅

携帯

次のとおり申し込みます。

記

１　申込区分

|  |
| --- |
| □大学生等奨学金貸付予約申込 |
| □第一種奨学金返還支援対象者認定申込（第一種奨学金予約採用） |
| □第一種奨学金返還支援対象者認定申込（第一種奨学金在学採用） |
| □併願申込(＊)【第一種奨学金　□予約採用　□在学採用】 |

＊大学生等奨学金及び第一種奨学金（予約採用または在学採用）返還支援の併用を希望する場合に限り選択してください。

２　本人の氏名等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　名 |  | 生年月日 | 年　　月　　日生 |
|  |

３　本人の現況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学校名 | 学部・学科・専攻 | □第(　　)学年　在学中□(　　　　)年度　卒業 |
|  |  |
| □高等学校卒業程度認定試験　(　　　　)年度　合格 |

＊在学中または卒業した学校名等を記入してください。

４　進学(在学)予定等

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 進学(在学)予定先 | □県内□県外 | □国公立□私　立 | □大学　□高等専門学校　□短期大学□専修学校　□大学院 | 通学形態 | □自宅通学□自宅外通学 |
| □理工系学部　　 (　　　　　　　 )学部・学科・専攻□理工系学部以外 (　　　　　　　　 )学部・学科・専攻 | 予定年間授 業 料 |  円 |
| 受給中･申請中の他の奨学金(内定等を含む) | □無□(独)日本学生支援機構の奨学金（□給付型、□第一種、□第二種）、□母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金、□香川県の他の奨学金（□医学生、□看護学生）□その他の奨学金（　　　　　　　　　　　　） |
| 希望する月額(大学生等奨学金申込者のみ記載) | ・県内の大学等へ進学予定の場合、10,000円/月の加算の希望　□有、□無 |

＊申込み時点で進学等を予定する学校の種別等を記入してください。申込み後に変更があっても差し支えありませんが、第一種奨学金返還支援対象者認定への申込みの場合は、必ず理工系の学部等(観光関連分野へ就業予定の場合を除く)へ進学する必要があります。

５　大学等を卒業後の就業・居住予定等(第一種奨学金返還支援対象者認定を申込む場合に記入)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画の特定分野の県内企業での就業予定 | □有□無 | 就業予定分野 |  | 香川県居住予定 | □有□無 |

＊第一種奨学金返還支援対象者認定への申込みは、大学等を卒業後、県内における特定分野（募集要項６p）での就業、居住予定が要件です。

　＊「就業予定分野」欄には、募集要項（６p）の人口減少の克服と地域活力の向上となる分野のうち、就業予定の分野の記号を記載してください。

６　世帯に関すること

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 世帯人員 | （　　　）人 | □本人　　□父　　□母　　□兄弟姉妹（　　）人　　□祖父母（　　）人□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 障　害　者　の　有　無 | □無□有： 人数（　　　）人＊「有」の場合は、身体障害者手帳等をコピーのうえ、封書にして添付してください。 |
| 子の状況 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 本人との続柄 | 氏名 | 年齢 | 在学している学校　（就学前の場合は未選択） | 国公立・私立の別 | 通学形態 |
|  |  |  | 小・中・高・高専(　年)・短大・大学・大学院・専修（高等課程・専門課程）・他(　　　　) | 国公立・私立 | 自宅・自宅外 |
|  |  |  | 小・中・高・高専(　年)・短大・大学・大学院・専修（高等課程・専門課程）・他(　　　　) | 国公立・私立 | 自宅・自宅外 |
|  |  |  | 小・中・高・高専(　年)・短大・大学・大学院・専修（高等課程・専門課程）・他(　　　　) | 国公立・私立 | 自宅・自宅外 |
|  |  |  | 小・中・高・高専(　年)・短大・大学・大学院・専修（高等課程・専門課程）・他(　　　　) | 国公立・私立 | 自宅・自宅外 |

＊本人を除く、就学中・就学前の子について記入してください。 |

７　収入に関すること

（１）父の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　名 |  | 収入 | □給与収入： 　　 源泉徴収票の支払金額 （　　　　）万円□年金収入： 　　 年金振込通知･額改定通知の年額 （　　　　）万円□給与･年金以外： 確定申告書の収入･売上金額 （　　　　）万円確定申告書の所得金額 （　　　　）万円□その他：収入の種別（　　　　　　　）､ 収入金額（　　　　）万円□無 |
|  |

（２）母の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　名 |  | 収入 | □給与収入： 　　 源泉徴収票の支払金額 （　　　　）万円□年金収入： 　　 年金振込通知･額改定通知の年額 （　　　　）万円□給与･年金以外： 確定申告書の収入･売上金額 （　　　　）万円確定申告書の所得金額 （　　　　）万円□その他：収入の種別（　　　　　　　）､ 収入金額（　　　　）万円□無 |
|  |

（３）父母に代わる家計支持者（（１）、（２）ともに収入の記載がない場合に記入）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　名 |  | 収入 | □給与収入： 　　 源泉徴収票の支払金額 （　　　　）万円□年金収入： 　　 年金振込通知･額改定通知の年額 （　　　　）万円□給与･年金以外： 確定申告書の収入･売上金額 （　　　　）万円確定申告書の所得金額 （　　　　）万円□その他：収入の種別（　　　　　　　）､ 収入金額（　　　　）万円□無 |
|  |
| 本人との続柄 |  |

（４）本人及び配偶者の状況（大学院において奨学金返還支援対象者認定を申込む場合に記入）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 配偶者 | □有　□無 | 収入 | 本人 | □父母等からの給付金（　　　　）万円　 □奨学金（　　　　）万円□アルバイト又は定職による給与所得等（　　　　）万円□定職による給与所得以外の収入の必要経費（　　　 ）万円 |
| ふりがな氏　　名 |  |
|  | 配偶者 | □定職による収入のうち給与所得（　　　　）万円□定職による収入のうち給与所得以外の収入（　　　　）万円□定職による収入のうち給与所得以外の収入の必要経費（　　　　）万円□無 |

＊１万円未満切り捨て。所得課税証明書に基づく記入方法は、別紙「記載例」をご参照ください。またそれぞれの収入を証明する書類（源泉徴収票、所得課税証明書など）のコピーを添付してください。

８　支出に関すること（対象期間：令和５年1月～令和５年12月）

|  |  |
| --- | --- |
| 長期療養者の有無 | □無□有：療養のために経常的に必要な１年間の支出（　　　）万円＊医療費の領収書などのコピーを添付してください。 |
| 主たる家計支持者の別居の有無 | □無□有：別居による家賃、光熱水費などの１年間の実費（　　　）万円＊別居による家賃、光熱水費など、自己負担した費用の領収書のコピーを添付してください。会社等で負担される分は除きます。 |
| 火災・風水害・盗難等の被害の有無 | □無□有：長期（２年以上）にわたる支出の増加、収入の減少がある場合、その１年分の金額（　　　）万円＊被害を受けたことの証明書（罹災証明書、盗難届の証明書など）と被害により生じた実費を証明する領収書のコピーを添付してください。ただし、保険や損害賠償等によって補てんされた分は除きます。 |

９　その他（申込みにあたり、特に説明を要することがあれば記載してください。未記入でも構いません。）

|  |
| --- |
|  |

備考１　大学生等奨学金の実際の借入れにあたっては、連帯債務者１人と連帯保証人１人が、それぞれ必要となります。連帯債務者は、原則として保護者（父母）等、連帯保証人は、連帯債務者以外の独立して生計を営む成人です。

備考２　本申込書及び添付書類の内容に虚偽があった場合は、内定等を取り消すことがあります。